

1 / 2

五	か
七	り
工	が
○	
上	う
合中工	まれ
合	
上	ま
合四四	した
合	

その時生まれたもの

B E G I N^{本調子}

2/2

四	中	七	六	王五	七	工	○	上	中
	そ	の	と	き	あ	か	り	が	う
									ま

工	○	上	四	四	六	工	合	工	六	工	六	六
れ		ま		した								

工	合	工	中	六	工	合	工	六	六	工	合	中

四	合	四	合	四	○	四	○	四	○	○	○

一、大空に輝く星よりも
小さな島の街灯り
街の灯りが美しい
美しいことを知りました

二、明日くるはずの幸よりも
過ぎて行く昨日の苦しみ
苦しみの方が愛しい
愛しいことを知りました

十人十色であればこそ
瞬き輝きを増す光り
そこに家族が見えました
そこに人々が見えました
ああ 自分の為に生きるより
ああ 貴方のために暮らしたいと
その時 灯りが生まれました
その時 灯りが生まれました

一期一会であればこそ
傷つきたいわりを増す心
そこに運命が聞こえました
そこに命が聞こえました
ああ 自分の為に歌うより
ああ 貴方の為に届けたいと
その時 唄が生まれました
その時 唄が生まれました

作詩・作曲
唄

B E G I N
B E G I N